

# も し も に 備 え て 考 える



## ペットと飼い主の老いのこと

動物の種類によって寿命は異なりますが、ペットが年を取ったときのことを想定し、心構えと準備をしておくことが重要です。

子犬や子猫を飼った場合、高齢で介護が必要になる10～15年後は飼い主も同じだけ年を取っています。

そのときの自身の状況を想像して、準備をしておくことが大切です。

ペットが寿命を迎えるまで責任を持って飼育し続けることができないのであれば、「飼わない」「今は飼えない」と判断することも動物への愛情です。

また、けがや突然の病気など、ペットを飼えなくなるような万が一の事態にも備えておきましょう。



## 災害が発生した ときのこと



地震、台風などの災害が発生した場合、大切なペットも被災します。

災害が原因で大切なペットを手放すことのないよう被災した時の対応について、日頃から考えておきましょう。

ペットの防災は日常の延長にあります。また、災害時は物流が滞る可能性もあります。食べ慣れているフードやペットシーツなど、ないと困るものは日頃から消費できる範囲で備蓄しておくことも大切です。

